

令和 7 年度 県立藤代高等学校自己評価表

目指す 学校像	・一人一人の生徒と誠実に向き合い 高い知性 たくましい気力 礼節を重んずる人間を育成する学校 ・みずからの力を信じ 社会の中の人間として たゆまず真理を求めることのできる人間を育成する学校 ・地域に信頼され、地域から日本・世界へ、グローバルな視野を持つ人間を育成する学校			
評価項目	具体的目標	具体的方策		
「三つ の 方 針」 (スク ール・ ポリシ ー)	「育成を目指す資質・能力に関する方針」 (グラデュエーション・ポリシー)	(長期的目標) ・時代の変化に応じて創造的にキャリアを形成しながら社会に貢献できる人財 ・規範意識と豊かな人間性を身に付け、健やかな心身と他者への思いやりを持った人財 ・郷土に対する誇りや周りの環境に愛着をもち、地域社会の未来を牽引できる人財		
	「教育課程の編成及び実施に関する方針」 (カリキュラム・ポリシー)	(中期的目標) ・普通科の理念の下、生徒の多様な学習ニーズに対応した履修機会の提供 ・生徒一人一人の進路希望を実現させる、確かな知識・技能、より高度な思考力・判断力・表現力を育む授業 ・教育課程全般を通して課題を発見し、仮説を立て取り組み、まとめ・表現し、次の「探究」サイクルへと繋げる学びをデザイン		
	「入学者の受入れに関する方針」 (アドミッション・ポリシー)	(短期的目標) ・多様な分野に興味関心を持つとともに、自己の専門をより深く探究しようという意欲のある生徒 ・自己の将来を見据え、進路実現に向け日々努力することができる生徒 ・倫理観や規範意識があり、学校生活に積極的に関わる意志のある生徒		
昨年度の成果及び課題		重 点 項 目	重 点 目 標	達成 状況
多くの生徒が国公立大学や難関私立大学を志望しているが、達成状況についてはまだ伸びしろがある。学習への意識啓発及び主体的・対話的で深い学びを導く授業改善に取り組むとともに、進路実現のための組織的・系統的な進路指導を推進する。 生徒はルール遵守を心がけている。より一層の規範意識の高揚と交通安全への理解を深め、基本的生活習慣の確立・定着を推進する。 生徒は部活動や学校行事に充実感を感じている。生徒の個性・自主性を認め、伸ば		確かな学力の涵養	① 基礎基本の徹底と自主的・能動的な学習習慣の確立 ② 学習意欲を高める主体的・対話的で深い学びを意識した授業の改善 ③ 国際理解教育の充実と海外派遣プログラムの推進	B
		一人一人に寄り添った進路指導の充実	④ 進路実現のための組織的・系統的なキャリア教育の推進 ⑤ 的確な情報提供による主体的な進路選択能力の向上	B
		豊かな心及び道徳的実践力の育成	⑥ 基本的生活習慣の確立・定着 ⑦ 規範意識の高揚と自主的・自立的・自律的態度の育成 ⑧ 学校行事や生徒会活動、HR 活動、部活動の充実	A
		開かれた学校づくり	⑨ 教育活動の積極的な情報発信 ⑩ 保護者や地域の声等の情報収集と地域の教育力の活用	A
		学校における働き方改革の推進	⑪ 勤務時間を意識した働き方の推進 ⑫ 学校業務の見直し	A

し、発揮させる活動を展開する。	教科及び学校の授業改善の推進	⑬ 生徒の満足度が高い授業の実践 ⑭ 生徒の希望進路の実現に資する授業の展開 ⑮ 生徒による授業満足度 3.2 以上	A
-----------------	----------------	--	---

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度（学期）への主な課題
教科指導	国語	第1学年 読書活動を通じて、社会や文化への興味・関心を深めるとともに、読解力や自らの意見を表現する力をつける。	A	B ・小説分野をいつどのように取り扱うかの検討。 ・古典文法を定着させるための工夫。 ・3年間を見据えた記述力の育成。 ・3学年の小論文指導の継続と、指導法の共有、研修の実施。
		現代の国語の領域では、他者との関わりの中で伝え合う力を高めるために、筆者の主張をとらえ、自己の立場から意見をまとめ書く演習を行う。①②⑬⑭	B	
		言語文化の領域では、我が国や中国等の文化に対する理解を深めるために、基礎的な単語や文法事項について学び、我が国や中国の代表的な古典文学を読んで、内容を的確に理解できるための演習を行う。①②⑬⑭	B	
	国語	第2学年 近代以降の多様な文章を的確に理解し、要約する力をつける。また、作品の読解を通じて古典の世界への理解を深める。	B	
		論理国語の領域では、情報を的確に理解する力をつけるために、近代以降の論理的な文章を中心に、要約する力をつけるための演習を行う。①②⑬⑭	B	
		古典探究の領域では、先人のものの見方や感じ方を理解し、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすために、敬語や漢文の句法などの知識を徹底して身につけ、作品の読解を通じて故事成語等の由来や歴史上の人物について探究する。①②⑬⑭	B	
	国語	第3学年 文章を論理的に読解し、自らの考えを表現する力を高めて、受験に対応できる力を養う。	B	
		現代文の領域では、論理的、批判的に考える力を伸ばすために、読解力向上に資する教材を精選して読解し、自己の意見を考えて言語化する演習を行う。①②⑬⑭	B	
		古典の領域では、言葉や文化への認識を深め、古典に親しみ自己を向上させる力を身につけるために、多岐にわたる分野の作品を読解し、表現する演習を行う。①②⑬⑭	B	
教科指導	地理歴史	国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を養う。	B	B ・それぞれの授業で、ICT 機器を効果的に活用し、基礎的知識の定着と発展的な探究学習を図ることができた。 ・歴史的な思考力及び地理的な見方・考え方を養うという点において、様々な入試問題の傾向に対応
		日本の歴史を、世界史的視野に立って総合的に理解させる。	B	
		現代世界の地理的事象を考察し、地理的な見方・考え方を養う。	B	
教科指	公民	具体的な事例を取り上げて、政治・経済に関わる諸事象をとらえるための基本となる概念や理論について学習させるとともに、現代の政治・経済の特質等の探究を通して現代社会の諸課題についての望ましい解決の在り方などを考察する。また、自らの生き方をつねに省みて、現代の社会の中で主権者として生きる力を養っていく。①②③④⑤⑩⑬	B	

導						できる実力をつけさせたい。
教科指導	数 学	学習の必要性を高める。	基本的な概念や原理、法則を理解し、数学のよさを認識することで学習に対する意義を持たせる。 ①②⑬	B	B	・低学年時における基礎学力の定着と、上級学年における入試を視野に入れた選択科目の進め方について改善を図る。
		進路実現のための授業の工夫	教科書にとどまらず、幅広い学習や副教材を通して、生徒の進路希望に応じた授業を臨機応変に展開する。 ⑤⑭	A		
		主体的に学ぶ意識の向上	身につけた知識を活かし、問題が解ける喜びが得られるような授業展開とともに課題や演習を充実させる。 ①②	B		
教科指導	理 科	生徒の自然に対する興味や関心及び探究心を高める。	指導方法の創意工夫と改善に取り組み、生徒の学習意欲を高めるような授業展開に努める。特に、実験や ICT を効果的に取り入れた授業を充実させる。 ①②⑬	B	B	・実験・実習等を積極的に導入することで、自然科学に対する学習意欲を高め、能動的な取り組みにつなげていきたい。
		自然科学的な自然観を身につけさせる。	探究の過程を通して、基本的概念や原理、法則を系統的に理解させる。 ①②	A		
		希望進路実現のため確かな学力を養成する。	自然の事物・現象について興味を持たせ、その基本原理を広くかつ深く理解させる。 ①②	B		
			進路に応じた課外授業を計画して、継続的に問題演習等を実施する。 ①②④⑭	A		
教科指導	保 健 体 育	個人、社会全体における健康・安全の知識・理解の定着を目指した指導の充実	ヘルスプロモーションの考え方に立ち、健康について自ら考え・行動するための基礎となる適切な知識・情報の理解・定着を目指す。健康・安全に対する個人の意思決定や行動選択が正しく行われるための思考力・判断力の向上を目指した指導の工夫と改善に継続的に取り組む。 ①②⑦⑭	A	B	・個人の健康状態に対する意識を高め、適切な意思決定や行動選択ができるようにするため、社会状況や身近な事例を取り上げる。 ・生涯スポーツを意識し様々な種目を展開できるよう年間計画を見直していく。 ・ICT を効果的に活用していく。
		生涯を通じた自らの健康管理、改善の資質、能力の向上に資する指導の充実	健康・安全に関する知識を実生活の中で、正しい意思決定や行動選択に結びつけるために、個人及び社会生活の中で、生かしていけるような指導を目指す。具体的な事例等を多く取り扱うなど指導内容を幅広いものにし、交通講話、薬物講話、性に関する講話等との関連性を持たせた保健授業の工夫と改善の継続に努める。 ①②⑥⑦	B		
		各運動の合理的実践を通じた技能、体力の向上に資する指導の充実	県民体操の継続的实践と長距離走、フォークダンスを必修とし、選択制授業をバランスよく取り扱い、体力・運動能力の調和のとれた向上を図り、スポーツテスト等で個人の体力・運動能力等の状態を確認し、授業の展開に活かしながら、個人及び集団の特性に応じた指導に継続的に取り組む。また、近年低下の傾向にある体力テストのスコアの向上を目指す。 ①②⑥⑦⑧	A		
		公正・協力・責任感等の育成、生涯体育への継続する指導の充実	体育委員のリーダー性の向上、一人一人に役割を持たせて自主性・責任感の涵養を図るなど「たくましく生きる力」の育成を目指す。選択制授業により生涯スポーツの基礎となる部活動の奨励と活発化を目指したマイスポーツの発見と技能の習得、各運動種目の持つ特性と楽しさに触れさせる指導の充実に努める。学習指導要領の内容を踏まえた指導を行う。 ①②⑥⑦⑧⑬	B		
教科指導	芸 術	生涯にわたり、芸術を愛好する心情と豊かな感性の育成	芸術の幅広い活動を通して、多面的・多角的に思考・判断し、表現力を養い、豊かな感性を育成する。 ①②⑭	A	A	・幅広い分野をバランスよく扱うことができた一方で、自国
			主体的・対話的で深い学びにつなげるために、課題の設定や活動の手立ての工夫・改善を行	A		

導			い、生徒の学習意欲を高める授業展開を目指す。①②⑬			の文化について触れる機会が減っているため、授業で取り入れていきたい。
		創造的な表現や鑑賞の能力の伸長、芸術文化についての理解の深化	表現と鑑賞の基本的な内容を習得できるよう、生徒の学習到達度の把握に努め、個に応じた指導を丁寧に行う。①②⑬	A		
			我が国の伝統的な芸術に触れ、そのよさや美しさを味わうとともに、世界の様々な地域の芸術文化と関わらせることで、国際理解を深められるようにする。①②③⑭	B		
教科指導	英語	自立的学習の定着	英単語・熟語や文法・語法等の小テストに併せて自立的な学習を促し、基礎学力の定着を図る。①②	A	A	・（特に低学年において）基礎的な知識の定着が課題である。 ・発信活動の指導をさらに増やし充実させる必要がある。 ・第3学年において、4技能を統合的に育成する点で課題が残った。
		実践的な読解力の養成	読解演習により内容理解力を高める。各種検査や課外等を通して多くの英文に触れる機会を設け、多読精読により長文の構成を把握し、深く理解する力を養う。①②③⑤⑬⑭	A		
		コミュニケーション能力の向上	授業中に英語での説明を聞いたり読んだりして理解し、スピーチやプレゼンテーション、ディベート等、英語で発信する能力を育成する。①②③⑤⑧⑬⑭	B		
		ライティング能力の向上	基礎的な文法知識を運用し、「書く」ことによって自分の考えや意見を表現する能力を伸ばす。こまめに添削・採点することで生徒一人一人の現状に合った指導を行う。②③⑤⑧⑬⑭	B		
		効果的なALTの活用	ALTとJETとで常に話し合いを密にし、ALTの発話を補足・解説しながら英語の運用能力を高める。ALTと生徒が互いの文化について話し合い、理解を深め合うことができるよう促す。②③⑧⑬	A		
教科指導	家庭	自立して生きる力の習得	調理実習・被服実習などの体験的学習や、グループワークなどの主体的・対話的で深い学びを通して、生活を主体的に営むために必要な基礎知識と技術の習得を図る。①②⑦⑬⑭	A	B	・体験的学習、グループワーク、ホームプロジェクト、課題レポートを通して知識・技能の習得が図れた。引き続き、生活情報の選択・活用する態度の育成に努めていく。
		課題解決能力の育成	ホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動、課題レポートの実施を通して、生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして、生活の課題を解決する力を養う。①⑦⑨	B		
		協働して生活の充実向上を図る態度の育成	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。②⑥⑧⑩	B		
教科指導	情報	コンピュータや情報通信ネットワーク等の基本的な活用能力を習得させる。	文書作成・表計算・プレゼンテーション等の標準的なソフトウェアの操作を身につけさせる。①②	B	B	・プログラミングやデータの活用等とおして問題解決に関する基本的な知識や技能を習得させる。
			情報通信ネットワーク等を通して情報の収集、選択、発信ができるようにする。①②⑤⑭	B		
		情報化社会の仕組みを理解させ、そこで生活するために必要な知識を習得させる。また健全な倫理観を育成する。	プログラミングによる具体的な問題解決の体験を通して、プログラミングの基本的な知識及び情報活用能力を身につけさせる。①②⑬	B		
			コンピュータや情報通信ネットワークの仕組み及び社会との関わりについて理解させる。①②⑦	A		
			情報化社会の問題点を理解させる。①②⑦	A		
			情報の発信者に求められる責任について理解させる。①②⑦	A		
			情報化社会において望まれるモラルやマナーを身につけさせる。①②⑦	B		

※評価基準 A：よくできた B：おおむねできた C：やや不十分 D：不十分

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題
教務	授業時間を確保し、基礎学力の定着と主体的・対話的で深い学びを意識した授業の改善を図る。	「チャイムと同時に授業開始」の厳守に努め、各学年・教科と連携し授業時間を確保する。 ①⑥	A	・シラバスを整備し、観点別評価と授業内容を緊密に連動させることで、生徒が学びの流れを理解しやすい授業作りを進め、学習意欲と理解の深化を図っていく。
		指導内容を再確認し、指導方法の研修等を通して授業力の工夫・改善を目指す。 ①②⑬	B	
		新学習指導要領を見据えた教育課程や評価の改善に取り組む。 ①②	A	
	「総合的な探究の時間」等を通して、よりよく課題を発見し解決していく力の育成を図る。	SDG s等の課題から、探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成する。 ①②③⑦	A	
		学校説明会・スクールガイド・進学フェア・学校公開授業等を通して、中学生にとって魅力のある学校として本校を積極的にアピールしていく。 ⑨⑩	A	
		学校ホームページをより一層充実させるとともに、藤代高校だより等を使って、随時本校の情報を発信していく。 ⑧⑨⑩	B	
	指導の目標を明確にし、行事の見直しやスリム化を進める。	地域の力を取り入れた、開かれた学校づくりに寄与する取り組みを行う。 ④⑤⑨⑩⑭	A	
		諸行事を能率的に企画・運営すると共に、各種行事の目的を明確にし、かけた時間に見合う教育上の効果を再検証する。 ⑧⑪⑫	B	
生徒支援	基本的生活習慣の確立	行事の精選以外にも、ICT機器の活用や地域との連携強化などを推進して行く。 ⑩⑪⑫	A	・学校全体で基本的生活習慣の確立にむけ取り組んでいく。校則変更の要望が増えてきており、丁寧に検討する必要がある。 ・生徒が安心安全に活動できるよう規範意識、思いやりの心を育てていく。また、相談しやすい環境・関係性を大切にしていく。
		保護者と連携し、規則正しい生活の実践を指導する。特に学年との連携を密にし、遅刻者の減少に取り組む。 ⑥⑦	B	
		教員、生徒が校内外で明るく挨拶を交わせるように指導する。 ⑥⑦	A	
	人権・生命の尊重	服装・頭髪について各学年と連携し、共通理解のもとに指導する。 ⑥⑦	B	
		交通安全について指導する。駐輪指導及び自転車のマナーについての指導を徹底する。交通事故(特に四輪との接触)を減らす。 ⑥⑦	B	
		薬物の危険について啓発をする。 ⑥⑦	A	
		携帯電話のマナーについての指導を強化する。 ⑥⑦	B	
	いじめ対策	未然防止のため、生徒の規範意識を高める指導をする。 ⑥⑦	A	
		早期発見のため、定期的な面談やアンケート調査を通して確認を行う。 ⑥⑦	A	
		早期解消のため、被害者の心のケアや加害者に対する指導など、初動で複合的な指導が可能となるようサポートする。 ⑥⑦	A	
		保護者や警察、児童相談所等との連携を取り、効果的な解決方法の協力体制を整える。 ⑥⑦	A	
		職員研修会等で職員の共通理解を図り、事例研究などを通して実践的な指導方法の習得を図る。 ⑥⑦	B	

進路指導	的確な情報提供による生徒の主体的な進路選択能力の育成	「進路要覧」や「進路ニュース」を発行するとともに、各種講演会・大学説明会等を実施し一人一人の生徒が主体的な進路選択ができるよう、適切な情報を提供する。⑤⑨	A	A	・学年と連携しながら、保護者・生徒へより適切な情報を適宜提供する。 ・難易度が高い進学先（国公立・難関私大・医療系）については、組織的・系統的な指導のありかたを模索し、実行する。 ・学力定着のために効果の高い支援サービスの活用を検討する。
		進路希望調査等を実施し、生徒一人一人の実態を把握するとともに問題点の検討とその改善策を講じて、学年の適切な進路学習をサポートする。⑤⑭	A		
	生徒一人一人の進路実現のためのキャリア教育の推進	一人一人の生徒が希望の進路を実現するために、保護者や地域の教育力を活かすことを含めたキャリア教育を実施する。④⑤⑩⑭	A		
	確かな学力の定着の支援	一人一人の生徒が希望の進路を実現するために学習支援サービスを導入し、自主的・能動的な学習習慣の確立と基本的学習事項の習得を支援する体制をつくる。①⑤⑥⑬	B		
保健厚生	基本的生活習慣の確立	知・徳・体の調和のとれた健康な人間として、きちんとした食事、最低限必要な睡眠、適度な運動、うがい・手洗い・消毒の励行による感染症等の予防、基本的生活習慣を確立する。⑥⑨	B	B	・健康的な学習環境を整え、学習活動の場を快適に保つよう努める。
	学習環境の整備	教室内の照度検査・換気の実践、飲料水の検査、校舎内外の危険箇所を整備点検し、学習活動の場を快適に保持する。①⑨⑫	A		
	環境教育の推進	毎日の清掃、ゴミの分別処理、資源の有効活用等、身近な問題から自然との共存を地球規模にまで発展させ、合わせて他を思いやる心を育成する。⑥⑦⑧	B		
特別活動	集団生活を通じて他人を思いやる心を育てる。	LHR を利用して集団の中の人間的な触れ合いを深め、社会性を高める。①②⑥⑦⑧	B	A	・物価高騰に対応するための予算の見直しと、運営方法や行事内容の精選などの工夫をする。
		生徒会行事（文化祭・球技会など）や部活動への積極的な参加を促す。①②⑥⑦⑧⑨⑩⑪	A		
	学年団、校務分掌、各教科との連携による特別活動の推進。	修学旅行、芸術鑑賞会等の学年行事と連携し、歴史的・文化的な国際理解を進めることで豊かな心の育成を図る。③⑤⑥⑦⑧⑨⑩	A		
		体育的行事（体育祭、駅伝大会）と連携し、仲間との協力やグループ活動によるコミュニケーション力の醸成、自己の目標を達成するための雰囲気を整える。①②⑥⑦⑧⑨⑩⑪	A		
図書	読書の推進を図り、人間として感受性豊かな心を育てる。	学校行事等の魅力を地域社会に伝えるために、積極的な情報発信を行う。⑧⑨⑩⑪	B	B	・教科の授業や探究学習で先生方も利用しやすいように図書館の環境を整備をする。
		読書指導の一環として、学校行事の中に「ビブリオトークの時間」を年2回設け、日頃本に接していない生徒にも本の世界を身近なものにする機会をつくり、生徒同士で本を紹介しながらコミュニケーション能力を育む。②⑦⑧	B		
	本の拡充や館内の整備に	図書委員会の活動として、「藤棚」や「図書館報」を発行するなど、広報に努める。②④⑤⑨	A		
		スムーズな本の貸し出し・返却を行うことができるように図書委員を指導し、さらに各種研	B		

	努め、 図書館の活用を促す。	修会に参加することによってリーダー的な資質を持った図書委員を育成する。 ⑥⑦⑧⑪		B	
		生徒や職員の要望に応じて図書を充実させるとともに、教科の授業や探究学習にも利用しやすいように図書館の環境を整備し、来館者の増加に努める。 ①②⑤⑧			
渉 外	家庭、地域と連携し生徒の健全育成及び教育環境の整備に努める。	本校生徒指導部、近隣の高校 PTA と連携し交通安全指導、校外指導を行う。 ⑥⑦⑫	A	B	・オンライン化を含めた P T A 総会のあり方と支部組織の見直しが必要である。
		保護者の要望を取り入れた研修会(大学見学等)を計画実施する。 ⑤⑩	A		
		学校教育活動に対する保護者の理解・関心を高めるため、広報紙を充実させる。Classi を活用し、保護者への連絡を密にする。 ⑨⑩	B		
国 際 教 育 推 進 室	国際交流の充実及び発展	オーストラリアの高校との交流プログラムを充実させて国際交流を深める。 ③⑧	A	A	・国際教育の行事が第 1 学年に集中しているため第 2 学年への行事の分散を図る。
		外国人とグループディスカッションで交流を行い、他国の文化や英語の国際語としての地位を理解させ、英語学習の意欲を喚起する。 ②③⑧	A		
		海外からの短期や長期の留学生等との国際交流を深める。 ③⑧⑩	B		
	国際意識の高揚	インターナショナル・ディやグローバルリーダーシッププログラム、第 35 回海外派遣の実施など、国際意識を高める機会を設け、グローバルな社会で生きていく力を養う。 ③⑤⑧⑨	A		
	国際教育委員会の活性化	藤朋祭での国際教育展示やインターナショナル・ディ、海外派遣生徒壮行会等の学校行事の企画や運営を通して、国際教育委員会の活性化を図る。 ③⑦⑧⑨	B		
ス ク ー ル バ ス	スクールバスの利便性の向上	スクールバスの時刻管理や申込・変更・解約業務を滞りなく行う。中学生・新入生向けに、バス停場所の情報をホームページに掲載する。また、スクールバスを生徒募集の一助とするとともに、バス停のルート変更等で新入生・在校生の利便性の向上を図る。 ⑨⑩⑫	B	B	・利用者の利便性の向上に努める。

※評価基準 A：よくできた B：おおむねできた C：やや不十分 D：不十分

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度（学期）への主な課題
第1学年	確かな学力の涵養	「予習→授業→復習」の習慣化に努め、自主学習の定着を図る。①②	B	B ・進路について、早い時期から主体的に考えるための支援を行う。 ・修学旅行などの学校行事を通して、生徒同士の連帯感や社会性を育んでいく。
		わかりやすく質の高い授業を展開し、大学進学等に対応できる学力の向上を図る。②④⑬⑭	B	
		課外授業や課題等を通して、基礎学力の定着及び学力の伸長に努める。①②	B	
	豊かな心及び道徳的実践力の育成	個別面談等を通して、一人一人の生徒理解に努める。①②④⑤	A	
		挨拶の励行と時間の厳守について、教育活動を通して指導していく。①⑥⑦⑧	B	
		ホームルーム活動や道徳の授業等を通して、規範意識を高めさせる。⑥⑦⑧	B	
	教科外活動の推進	部活動や生徒会活動等への参加を促す。⑦⑧	A	
キャリア教育を実践し、生徒一人一人に将来への展望を持たせる。④⑤⑩		B		
国際交流等の活動を通して、地域から日本・世界へグローバルな視野を育てる。③⑨⑩		A		
第2学年	確かな学力の涵養	授業の重要性を常に訴え、予習・復習とともに高い集中力を持って授業に臨ませる。①②⑬	B	B ・生徒のアイデンティティを育み、希望する進路の実現に向けて主体的に行動するように、学年が一枚岩になってサポートする。
		個々の生徒の実態に対応できるような授業及び課外授業等を充実させる。①②⑬⑭	B	
		週末課題や小テストを継続的に実施し、自発的な学習の習慣化を図る。①②	B	
	進路指導の充実	個人面談を適宜実施し、生徒一人一人の個に応じた適切な指導・助言を与える。④⑤	A	
		オープンキャンパスに参加させ、進路意識の高揚を図り、自己目標を明確にさせる。④⑤	A	
		進路指導部との連携により、目標実現につながる情報を随時提供する。④⑤	B	
	豊かな心及び道徳的実践力	服装容儀指導を徹底し、藤高生としてふさわしい自律的態度を育成する。⑥⑦	A	

別紙様式 2 (高)

	の育成	ホームルーム活動や修学旅行等の学校行事を通して、思いやりの心を育てる。 ⑥⑦⑧	A	B	・多様化が進む大学入試については、常に生徒の先を行き、進路指導部と連携しながら最新の情報を共有し、きめの細かい学習指導・進路指導の展開を目指す。
		国際交流等の活動を通して、グローバルな視野を育てる。 ③⑨⑩			
第3学年	確かな学力の涵養ならびに自己教育力を育成する。	授業の重要性を訴え、予習・復習とともに高い集中力を持って授業に臨ませる。 ①②	B	A	・学習意欲を高く保ちながら、成績上位層の力をさらに伸ばす指導の充実 ・進路実現を見据えた、中位・下位層の基礎学力および応用力の底上げ ・多様化・複線化する大学入試制度を踏まえた、計画的かつ的確な進路指導の推進
		生徒の現状を正確に把握し、授業や課外の内容を最適なものとする。 ①②⑬⑭	A		
		生徒一人一人が自主的・能動的な学習習慣を確立できるよう支援を惜しまない。 ①②	A		
	進路希望を実現する。	個別面談を頻繁に行い、生徒一人一人に明確な目標を持たせ学習意欲につなげる。 ①④⑤⑭	A		
		生徒が学習に集中して取り組める雰囲気作りに努める。 ①②④⑤	A		
		進路指導部との連携により、目標実現につながる情報を随時提供する。 ④⑤	A		
	豊かな心ならびに道徳的実践力を育成する。	藤代高校生としての誇りを持ち、礼節を重んじる態度を涵養する。 ①③⑥⑦⑧	A		
		学校生活において規範意識と共に、自主性や他者を思いやる気持ちを高めさせる。 ③⑥⑦⑧	A		
		規則正しい生活習慣を確立させ、心身の自己管理能力を向上させる。 ①⑥⑦⑧	B		

※評価基準 A：よくできた B：おおむねできた C：やや不十分 D：不十分